

蚊(か)媒介感染症に注意!



風薫る五月。丹南地域も暖かくなり、大変過ごしやすくなりました。野外で過ごすことも多くなってきましたが、そろそろ、厄介者も現れるころです。そう、『蚊(か)』です。

『蚊』はさまざまな感染症を媒介します。これから秋にかけ『蚊』に備えましょう。

● 蚊の発生源対策 ●

雨水マスや野外におかれた空きびん・空き缶、古タイヤ、植木鉢の皿などに水がたまっていませんか？

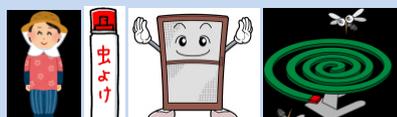
⇒ たまった水を捨てる。水のたまるものを置かない。屋内に収納する。

水の除去が難しい場合は、成長阻害剤などの薬品を使用する。



● 防蚊対策 ●

- ・外出時には長袖シャツ、長ズボンを着用し、肌の露出を極力防ぐ。
- ・肌の露出部分にむらなく虫よけ剤を使用する。
- ・網戸や扉の開閉を素早くし、なるべく開閉を減らす。
- ・蚊取り線香などを使用する。



感染管理認定看護師からの ワンポイント★アドバイス

蚊媒介感染症とは？

デング熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、マラリアなどがあります。

蚊媒介感染症はどんな症状がでるの？

疾患により症状が異なりますが、主に発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感、発疹などがあります。(デング熱では2~15日、ジカウイルス感染症では2~12日の潜伏期間があります。)

蚊媒介感染症はどの様に感染するの？

感染蚊が刺すことによりヒトに感染します。媒介する蚊は疾患により異なりますが、デング熱、ジカウイルス感染症では、ネッタイシマカ、ヒトスジシマカなどです。

蚊媒介感染症を防ぐにはどうすればいいの？

現在、日本ではデング熱やジカウイルス感染症などの流行はみられません。デング熱は熱帯や亜熱帯の全域で、ジカウイルス感染症は中南米地域、タイ、フィリピン、ベトナムなどで流行しています。流行地域へ渡航される場合には上記の「防蚊対策」をしっかりと行いましょう。

治療方法は？

デング熱やジカウイルス感染症については、有効なワクチンがないため、対症療法が主になります。感染してからの治療よりも蚊にさされない対策をとることが重要

(医療法人 林病院 感染防止対策室 東 麻奈美氏)

もっと詳しく知りたい方は [蚊媒介感染症 福井県](#) [検索](#) 福井県健康増進課 HP をご覧ください。

【丹南健康福祉センターからのお知らせ】

◆ **マダニにもご注意ください。**マダニも蚊と同様、さまざまな感染症を媒介することが知られています。

野外では、肌の露出を避け、マダニ類に咬まれないようにしましょう。もし、咬まれたら、医療機関を受診してください。また、吸血中のマダニは無理に取り除こうとせず、医療機関で適切な処置(マダニの除去・傷口の消毒)を受けてください。

【担当課】 ご意見・ご要望はこちらへ↓
 福井県丹南健康福祉センター 地域保健課
 Tel (0778) 51-0034 Fax (0778) 51-7804
 E-mail t-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp
 配信希望(停止)はメールでご連絡ください。